サイエンスカンファレンス　2025　参加／発表体験報告記

（1）発表者情報

①氏　　名：喜多　弘一郎　　②学校／学年：開邦高校/二年

③指導教員名：小林理気

（2）発表タイトル

太陽系内通信中継機 POLARIS の提案

（3）サイエンスカンファレンス体験報告

参加／発表や人との交流を通して得た体験や学びに関して，以下の項目について報告してください．

① 「自分が一番大切だと感じたこと」

場合によっては小学校から一つの研究テーマを深掘りし、独自の視点で探究を続ける方々が全国にたくさんいると知ることができ、多くの刺激を得られたこと。

また、そのような方々と同じ場で発表できたこと、知り合い、友人同士になることができたこと。

② 参加前後で「自分が新たに理解したこと」や「自分の考えや理解で変化したこと」

カンファレンス参加前は、発表（アウトプット）に行くつもりだったが、参加してみると受講生や審査委員から多くのアドバイスや質問をいただくことができ、このような交流型の発表会は意見やアドバイスをもらい、同世代の仲間との人脈を作るインプットの場なのだと思った。

③ 上記のほか，感想等

学校などでの発表では、自身の研究は難しそうだと敬遠されることが多いが、このカンファレンスでは発表を真剣に聞き、コメントシートや質問、こうすればいいのでは？といった意見を多くいただくことができた。自分の研究のブラッシュアップや改善点を見つけるためにも、この会は役に立ったと思う。

（4）後輩へのメッセージ

サイエンスカンファレンスは「発表」に重きを置いてしまうかもしれないですが、このカンファレンスで手に入る一番大切なものは賞状や実績ではなく、仲間、そして研究へのアドバイス・モチベーションです。全国レベルの発表者と関わることは、刺激的で、自分の研究をレベルアップする絶好のチャンスです。緊張するかと思いますが、受講生同士の交流を楽しんでください！